

平成 18 年度 広島大学大学院理学研究科第二次入学試験問題

化 学 専 攻	英 語
---------	-----

平成 18 年 1 月 26 日 9 : 00 ~ 11 : 00

注 意 事 項

1 . 以下の用紙が配布されている。

問題用紙 (表紙を含む。) 5 枚

解答用紙 4 枚

下書用紙 1 枚

2 . 問題は全部で 4 問ある。 4 問全てに解答せよ。

3 . 解答は問題ごとに指定された用紙を用い , それぞれの解答用紙に
受験番号を記入せよ。 解答は用紙の枠内に記入せよ。

4 . 解答用紙及び下書用紙の全てに受験番号を記入せよ。

5 . 試験終了時には , 全ての解答用紙及び下書用紙を提出すること。

平成 18 年度 広島大学大学院理学研究科第二次入学試験問題

化 学 専 攻	英 語
---------	-----

次の〔 〕～〔 〕の 4 問に解答せよ。解答には問題ごとに指定された用紙を使用せよ。
解答は用紙の枠内に記入せよ。

〔 〕次の英文はノーベル賞受賞講演の一部である。これらの英文を全て日本語になおせ。

著作権侵害の恐れがあるため掲載せず。

平成 18 年度 広島大学大学院理学研究科第二次入学試験問題

化 学 専 攻	英 語
---------	-----

[] 次の問(a)と(b)に答えよ。

(a) 次の英文の中の空欄(1)～(6)に入る最も適切な単語を答えよ。なお、それぞれの空欄に入る単語は1つである。

This result can also be explained [(1)] terms [(2)] the contribution of the orbital interaction.

The examination of these hyperfine splittings has provided some valuable information [(3)] the ion pairs.

This difference seems [(4)] be ascribable [(5)] the different contributions of charge transfer.

He explained his plan [(6)] detail.

(b) 次の数式(1)～(4)を英文で表現せよ。

(1) $y = x + 1$

(2) $1 \leq x \leq 10$

(3) $12 \div 3 = 4$

(4) $y = e^{-x}$

平成 18 年度 広島大学大学院理学研究科第二次入学試験問題

化 学 専 攻	英 語
---------	-----

[] 次の日本語 (1) ~ (5) を英文になおせ。

- (1) 化合物 の酸化反応の速度論的な情報をえるために研究を行った。
- (2) 無水アルコールは、前述の実験法と同様な方法により合成した。
- (3) 室温において、水の存在下で酢酸の合成を試みたが失敗した。
- (4) 気体の体積は、圧力に反比例する。
- (5) 最小二乗法を用いて、図 1 に示したプロットの勾配から活性化エネルギーを計算した。

平成 18 年度 広島大学大学院理学研究科第二次入学試験問題

化 学 専 攻	英 語
---------	-----

[] 次の(1)～(5)について,それぞれの最初にある大文字から始まる単語を文頭として,単語を並べ替えて正しい英文にせよ。また,それを日本語に訳せ。

- (1) The mixture white reaction became .
- (2) The the rate plots of linear constants are .
- (3) This reading worth paper is .
- (4) The in system equilibrium is thermal .
- (5) This with the is experiments consistent conclusion .